

第2回 長沼町子ども・子育て会議 概要	
日 時	令和6年12月9日（月） 午後6時00分～7時10分
場 所	総合保健福祉センターりふれ 三世代交流室
出席委員	黒田泰明会長、小泉めぐみ副会長、細田孝哉委員、宮川玲佳委員、古澤ともえ委員、谷渕友美委員、藤川和信委員、渡部治委員、坪田健志委員
欠席委員	八柳圭委員、坂下貴子委員、宮北佳苗委員
事務局	子ども育成課 武田課長、三浦理事、白川補佐、廣川係長、大塚係長、杉山主事
傍聴者	な し
議 題	1 開 会 2 議 事 (1) 第3期長沼町子ども・子育て支援事業計画素案について 3 その他 4 閉 会

会議録

1 開 会

委員 12名中9名出席

委員の過半数が出席していることにより会議が成立していることを報告

2 議 事

(1) 第3期長沼町子ども・子育て支援事業計画素案について（事務局より説明）

- ・ A委員～計画の中にある事業について、長沼町の特色が出ているものがあるか。
- ・ 事務局～この計画には国から示されている事業の量の見込みを示していく。今後新たな子育て支援策が出てきた時にこの計画を見直していく。
- ・ B委員～ヤングケアラーについて。町が把握するものなのか。自分がいつもしていることが当たり前だと思って気付かないこともある。
- ・ 事務局～子ども家庭センターの職員が小・中学校や高校に足を運び、そのような対象がいたら教えていただきたいと伝えている。家事をやって勉強する時間や遊ぶ時間がない、疲れて授業中に寝てしまったりする時にヤングケアラーであると定義される。アンケート調査も必要になってくると思う。
- ・ C委員～ヤングケアラーの把握の仕方が難しいと思う。学校の先生が把握できる以外に地域で何か手立てを考えていただければと思う。
- ・ D委員～子育て短期支援事業について。町内に施設はないが、近隣にはあるのか。
- ・ 事務局～岩見沢市、北広島市の各1か所の施設のほか、里親の活用も考えている。
- ・ E委員～子ども誰でも通園制度について。利用するのに費用はかかるのか。
- ・ 事務局～試行実施している自治体では1時間300円の利用料を定めており、これは国が示す標準額に相当する。令和8年度からの本格実施に向けて本町でも準備していく。
- ・ G委員～町内に子どもが予防接種を受けられる病院がない。子どもを守る意味でも町内で予防接種ができるようにしていくことが大事だと思う。
- ・ 事務局～アンケートでも小児科を求める声をたくさんいただいた。全国的にも担い手が少ないと聞くが、役場全庁に関わることであり、各課にお知らせしている。今後検討していく中で、できることをやっていきたい。

3 その他

- ・ 事務局～今後のスケジュールとして、1月にパブリックコメントを実施する。3月の第3回会議で意見を反映した計画（案）について審議いただく。

4 閉 会